ジョイサポート三和（旧市原市三和福祉作業所）

平成23年４月から市原市の指定管理者制度により社会福祉法人ききょう会が運営を行っていた“市原市三和福祉作業所”ですが、令和２年４月より民間移管されることなり、このたび“ジョイサポート三和”に名称が変わりました。移管後も生活介護（定員25名）と就労継続支援B型（定員30名）の通所多機能型の事業所として運営を行い、生活介護では、理学療法士によるリハビリや食事等の介護、創作的活動の機会の提供を行い、就労継続支援B型では、就労の機会の提供と合わせて知識及び能力の向上のために必要な訓練やその他の便宜を行っています。さらに、遠足やクリスマス会などの各行事やサマーフェスティバルなど地域の皆様も参加できるイベントを計画していますので、今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

社会体験外出

去る11月、社会体験外出を行いました。店舗に向かう車中では「クリスマスプレゼントは何を買おうかな？」等の会話で盛り上がる利用者の皆さん。店舗に到着し目当ての物を探している際は「欲しいものが置いてあるかな？」という不安な声も見られましたが、商品を見つけると「あった！」と笑顔で職員に伝えてくれました。

こどもステーション三和

特別支援学校の送迎後の事業所内での活動以外にも、夏休み、冬休みなどの長期休業中や、学校休業日には、お楽しみ企画として様々な場所に外出をしています。車椅子に座ったままでも乗り降り出来るリフト付きの車両を使い、車椅子の利用者も自分で歩く利用者も一緒に、外出先でのアクティビティを楽しんでいます。

▲更科公園で行われた国府祭りの見学の様子

編集後記

新型コロナウイルスが猛威をふるっていますが、
職員一丸となって手洗いうがい、消毒等を徹底し、感染予防に取り組んでまいります。

ききょうタイムズ TIMES

No.73
令和２年４月１日発行

発行：社会福祉法人ききょう会
編集：吉沢学園編集部
〒290-0523　千葉県市原市吉沢 117 番地
TEL.0436-98-1562　FAX.0436-98-1398

令和２年１月に吉沢学園の「ファミリアTABI」が市原市田尾にオープンしました。吉沢学園の生活介護利用枠の拡大、日中活動の充実の為、吉沢学園の出先機関として開設する事となりました。尚、同建物内にある喫茶店「TABI Cafē タビ カフェ」は、地域の皆様には4月20日からオープンする予定です。

現在の日中活動班は3つあり、カフェ・ショップ班では、接客を通して、地域の方と障がい者の交流の場と考えています。地域野菜も販売しますので、畑でとれた新鮮野菜をお持ちください。

製パン班では、ケーキにも使用される小麦粉、バターや生クリームをふんだんに使用した「高級食パン」を目玉に、色々な手作りの焼き立てパンを製造・販売する予定です。

農耕・園芸班では、カフェで提供するハーブや野菜を中心に育てています。利用者の方も「お客さんが喜ぶかな？」と話しながら、自分の作ったものや育てた花や野菜がお客さんに届くのを楽しみにしています。

市原市田尾の地で、障がい者、高齢者、児童が共に生きる「地域共生社会」の実現を目指した第一歩を踏み出しましたので、ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

一般オープン 4月20日　TABI Café ＆ パン工房

地元田尾にある喫茶ということで「TABI Café（タビカフェ」という名前がつきました。

市原鶴舞バスターミナルに隣接していますのでカウンターテーブルから窓越しの眺めは最高。

特徴は日替わりのランチサービスで、カフェのキッチンスタッフが腕を振るいます。定番のパスタやカレー、ハンバーグもあります。店内には地域の皆さんが持ち寄って下さった新鮮野菜コーナーも出来る予定です。

カフェの隣にはパン工房もあり、手作りパンも毎日作れるようパン職人が頑張っていますので、一度立寄ってみてください。お待ちしております。

決定！チバニアン

新聞を見ると「チバニアン決定!!」と大きな文字が・・・。吉沢学園の近くにあるのでこれはぜひ見学に行かなくてはと思い2月12日、冬の寒さ真っただ中に磁場逆転の地層を見てきました。

車に揺られる事15分で、最寄りの駐車場へ到着。付近にはビジターセンターがあり、まずは資料を見て下調べ。そこからさらに歩いて10分ほどで話題の地層に到着するのですが、この10分程の道のりが下り坂で足元は悪く、四苦八苦しながらもなんとか話題の地層に到着しました。

皆さまにも是非現地に足をお運び頂き、チバニアンが語る「生きている地球」を体感して頂ければと思います。

最後に昨秋の台風や大雨にも負けず、大きな影響を受けなかった奇跡、時代名に「チバ」の名が刻まれる奇跡、そしてそれが学園の近くにある奇跡。この3つの奇跡が重なり合う事を誇りに思い帰路に就きました。

天皇陛下より
吉沢学園に御下賜金が下賜されました

御下賜金（ごかしきん）とは、2月23日の天皇誕生日に際し、天皇陛下から社会福祉事業御奨励の思し召しをもって、民間福祉事業に係る事業成績優秀な施設・団体に対して、金一封を下賜されるものです。

このたび吉沢学園が令和２年度の優良な施設として、天皇陛下より金員が下賜されました。

令和２年３月６日、千葉県庁にて伝達式が行われ、滝川副知事より当法人理事長に伝達されました。

とても驚いていると共に、平成30年に創立30周年を迎えたききょう会としては、誠に名誉なことであります。これからも拝受するのに相応しい法人の経営・運営に取り組んでまいりますので、今まで以上に皆様方のご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

（理事長: 林 壽美子）

後列右から、　野澤障害福祉事業課課長
　　田中健康福祉指導課課長
前列右から、　滝川副知事
　　林理事長
　　武内常務理事

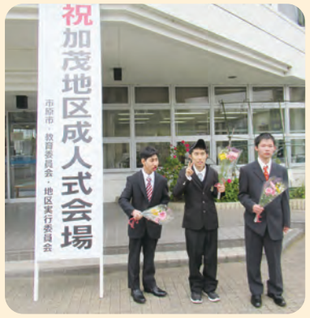
吉沢よりあいサロン

月に1回、吉沢町会の皆さんが集まり、グループホーム近くの「林光二・華子記念館」や学園の会議室を使って楽しく過ごしていただく「吉沢よりあいサロン」。もう三年も続いています。

「ついつい長居しちゃうわ…」などのお声もいただき、毎回皆さんおしゃべりに花が咲いているようです。これからも地域の方々に学園を身近に感じていただき、居場所としてご活用いただければ幸いです。

学園トピックス

成人式



今年、吉沢学園の3名が成人を迎え、加茂公民館で令和2年1月12日に行われた成人式に出席しました。成人式ではお祝いの花束を頂いたり、また思い出に残る写真も撮影したりと、成人という節目の日を華々しく迎えることができました。帰園後には、成人式の写真を居室に貼ったり、花束を居室のどこに飾ろうかと思案したりと、各々が成人を迎えた喜びを噛みしめているようでした。

昇降機設置

昨年、吉沢学園3棟の体育館へ上がる階段に昇降機が設置されました。

昨今、利用者様の中でも歩行が不安定な方が増えつつある現状や保護者様から「年々階段の上り下りが大変になって…」との声を踏まえて保護者会にご相談したところ、保護者会で昇降機を設置して下さいました。設置した事で、体育館への移動がスムーズに、より安全に行える様になりました。誠にありがとうございました。

グループホーム

グループホームクリスマス会

令和初のクリスマス会は、初めて学園とは別日にグループホームの皆さんたちだけで行ないました。ご馳走に舌鼓を打ちながらスライドショーを観て、食後は楽しみにしていたカラオケ大会に突入！皆でステージに上がり、曲に合わせて歌ったり踊ったりして大盛り上がりでした。最後の締めはクリスマスケーキ！利用者さんの満足そうな笑顔が印象的でした。

一泊旅行at横浜八景島シーパラダイス

あいにくの雨模様からの出発となってしまいましたが、大型バスへ乗り込むだけで気分は最高!!移動中の車内ではおしゃべりが止まりませんでした。

1日目の八景島シーパラダイスでは大迫力のショーを観賞し、2日目の木更津のアウトレットではショッピングを楽しんできました。ホテルでは数種類の温泉に入ったり宴会をしたりと、普段とは違う時間を過ごしました。いっぱい食べていっぱい遊んだ2日間でした。

一泊旅行at東武ワールドスクエア

11月25～26日に一泊旅行に行きました。東武ワールドスクエアでは世界中の建物のモデルを見学して周りながら写真を撮って楽しく過ごしました。鬼怒川観光ホテルに着き、温泉に入り、ご馳走を頂いた後、カラオケをして皆で盛り上がりました。二日目は日光江戸村を訪れ、水芸や忍者芸に大興奮！ひと時日常から離れ、素敵な時間を過ごす事が出来ました。

児童発達支援事業＆放課後等デイサービス

こどもステーション牛久

今回は「八天堂きさらづ」で貴重なパン作り体験をしてきました。施設に入るとパンのいい香りがしてきてみんな「わぁ～、おいしそう！」と口にしてしまうほど。もっちもちの生地が配られるとわくわく感満載に！こねてみると軟らかくてちょっと温かくて…。耳をつけたりパン専用のはさみで切り込みを入れてみたり、思い思いに形を作りました。パンを包む紙に自分でお絵かきをして、焼きあがったパンを入れて、世界に一つだけのパンが出来上がりみんなの笑顔がこぼれていました。

こどもステーション菊間

今回は茂原市にある萩原公園(交通公園)へ行ってきました。本物そっくりな信号機や横断歩道、ゴーカートや自転車など様々な種類の乗り物に興味津々な子ども達。まだまだ遊び足りないようでしたが、去年11月にリニューアルオープンしたお菓子直売所あられちゃん家(工場直営店)へ移動し、お買い物体験。たくさんのお菓子を見て回り、みんなどれにしようかなーと悩みながらもお小遣いの範囲で上手にお買い物ができました。

こどもステーション東国分寺台

11月30日（土）に児童発達支援の親子行事を行いました。

パパ、ママと一緒の活動なので笑顔がこぼれてしまうほど嬉しそうな子供たち。軽食づくりやクリスマスカード制作に、親子でわいわい賑やかに取り組みました。保護者の方からも『いつもと違うわが子の姿にびっくりした』『保護者同士の交流になって良かった』等の感想をいただき、これからもこのような機会を設けていき子供たちや保護者さんの笑顔の機会を増やしていきたいと思っております。

ジョブハウス・もみの木

現在喫茶もみの木では、小湊鐵道写真展を開催中です。小湊鐵道の全駅とその周辺で撮影された写真の数々。その多くには、撮影された駅名が添えられており、お好みのスポットが見つかったら、自分で足を運ぶことも出来ます。また、小湊鐵道グッズとして、箱入りラスクやドロップの他にも、ハンカチ、バッグ、作業帽等の販売も行っています。お近くにお越しの際には、ぜひお立ち寄り下さい。

浅井小向デイサービスえん
（地域密着型通所介護事業）

浅井小向デイサービスえんでは、10月にハロウィン仮装パーティーを行いました。ご利用者様は、「今日は何の日だい?」と、おっしゃり驚かれていましたが、皆さん仮装には大変興味を持たれ、ポーズを決められる様子も見られました。仮装の後は、ハロウィン用カップケーキを召し上がりながら、会話を楽しまれました。

創立30周年記念 英国 ロンドン視察旅行レポート

令和元年10月16日～22日

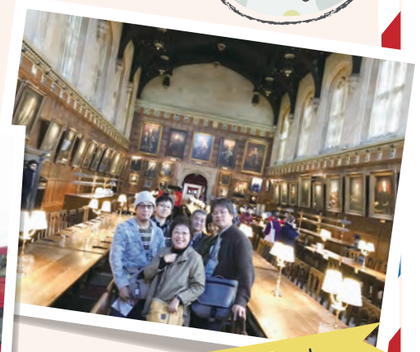
ロンドン市内にある「トラムハウススクール」は、主に自閉症児の特別学校です。
応用行動分析学（ABA）から利用者を支えている現状を目の当たりにしてきました。

LONDON

ロンドンから車で南へ約1時間半、「チャイリーヘリテージ財団」は、重度の脳性麻痺を持ち複雑な障害を抱えた方々の為の、100年を超える歴史を持った英国有数のセンターの一つです。

ロンドン・オックスフォードの旅では、バッキンガム宮殿の衛兵交代やウエストミンスター寺院など伝統的な名所見学のほか、ビートルズやハリーポッターゆかりの地を巡ったり、パブでビール、フィッシュ&チップスを頂いたり、買い物で大はしゃぎをした毎日でした。

Hello



ハリーポッターの世界へ！
オックスフォードのクライストチャーチの食堂は荘厳で雰囲気最高！

中核地域生活支援センター いちはら福祉ネット（千葉県委託事業）

多分野連携研修

令和2年1月15日、『市原市多分野連携研修』が開催されました。当日は、児童・高齢・障害・生活困窮・地域活動など、福祉の各分野から69名の参加があり、初めに東邦大学看護学部教授　岸恵美子先生から『セルフ・ネグレクトの実態と支援』というテーマで基調講演をいただき、その後のグループワークでは、複合的な課題に対し各分野がどのように対応できるのか参加者同士で意見交換を行いました。多様化・複雑化する地域ニーズに分野を超えた連携で対応できるよう、今後も相談支援体制の構築を進めていくことが必要であると参加者と共有できた研修となりました。

いちはら生活相談サポートセンター（市原市生活困窮者自立支援事業（市原市委託事業））

RUN伴2019千葉／いちはら

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指すイベントがＲＵＮ伴です。令和元年11月2日（土）秋とは思えぬ陽気の中、就労準備支援事業（いっぽ）の利用者や卒業生が、今年もボランティアスタッフとして参加してくれました。コミュニケーションがやや苦手な彼らですが、「冷たい水をどうぞ！」「頑張ってください！」と大きな声を出して一人一人に飲み物を手渡し、「ありがとう！」と笑顔のふれあいが生まれていました。

障害者グループホーム等支援事業（千葉県委託事業）

第11回千葉県障害者グループホーム大会開催

令和２年1月２５日千葉県教育会館にて、第１１回千葉県障害者グループホーム大会を開催しました。今回は「暮らしを拓く～グループホームの挑戦～」をテーマに、入居者の暮らしの選択肢を増やしていくには、地域の社会資源をどのように活用していけばよいかを基調講演・分科会を通じて考えました。

入居者が自己決定出来るように、多様な人達や社会と交流する機会を作ることがグループホームの役割であることを参加者と共有した会となりました。